

平成 29 年度第 29 回全国高等学校ボクシング選抜大会兼 JOC ジュニアオリンピックカップ男子ミドル級 優勝！

野上 昂生さん

平成 29 年度第 29 回全国高等学校ボクシング選抜大会兼 JOC ジュニアオリンピックカップが、3 月 20 日から 24 日にかけて宮崎県の宮崎市総合体育館で開催され、ミドル級競技に出場した鹿町工業高等学校 2 年の野上昂生さん（志佐・上高野）が見事優勝を果たし、3 月 27 日、報告のため市長を表敬訪問しました。

野上さんが、ミドル級への階級変更後に初めて臨んだ春の全国高等学校選抜大会。「日本一になる」と宣言したとおり、県予選、九州大会と勝ち進み、有言実行を果たしました。

野上さんは、「ずっと日本一になりたいと思ってトレーニングに励んできたが、優勝できたのはたくさんの人のサポートがあつてこそ。試合では、絶対に負けたくないという強い気持ちで相手に向かっていった。また日本一になれるよう、目の前の試合を大事に全力で臨み、結果を積み重ねます」と感謝の気持ちと今後に向けての抱負を述べました。

「日本一にこだわる」、言葉どおりの強い意志でさらなる高みを目指す野上さんの今後の活躍が期待されます。



長崎県立松浦高等学校なぎなた部

平成 29 年度第 13 回全国高等学校なぎなた選抜大会 団体 3 位入賞！

3 月 25 日に兵庫県伊丹 SC 体育館で開催された平成 29 年度第 13 回全国高等学校なぎなた選抜大会において、団体試合 3 位の成績を挙げた松浦高校なぎなた部が、校長、監督らとともに 3 月 27 日、市役所を訪問しました。

校長から選手、監督が紹介されたあと、顧問兼監督の板垣勇教諭が謝辞を述べ、部員達もそれぞれ一言ずつ喜びを語りました。

主将の濱崎優希さんは、「個人戦で初戦敗退となり、落ち込んだが団体戦には気持ちを切り替えて臨めた。チームでそれぞれが役割を果たせたことがこの結果に繋がった。新人戦の時は富野と 2 人だけだったが、1 年生が入りチームもまとまっている。次はインターハイでの優勝を目指したい」と試合を振り返り抱負を述べました。

また、同部は、同校陸上競技部とともに、国民体育大会や九州・全国大会などで活躍が期待できる県の「強化校・育成校」に指定されました。競技力の向上と競技スポーツの振興を図り、スポーツによって地域を盛り上げていくことが期待されています。

夏の日本一に向け飛躍を誓う部員たち。自信と課題を収めた今大会を糧に、さらなる成長を遂げていきます。





国際交流活動inまつうら

今月は私が紹介します！
(国際教育・活動支援員：
フィオナ・マニング)



● Sister City Experience (シスター・シティ・エキスピリエンス)

3月末に姉妹都市マツカイ市から4人の市民が松浦を訪問してくれました。4人ともマツカイ市の姉妹都市交流支援グループ「シスターシティ・マツカイ」のメンバーです。「シスターシティ・マツカイ」は、平成21年に発足し、松浦市民がマツカイ市を訪問する際には、歓迎行事の企画、案内、ホームステイ、ホームビジットへの協力をしてくれています。

また、毎年5月には、マツカイ市内で日本の「子どもの日」の記念行事を開催し、日本の文化の紹介、姉妹都市のPRを行うほか、東日本大震災や熊本地震など日本で災害が発生した時には募金活動を行い義援金を松浦に届けてくれました。

ところで、姉妹都市交流といえば、松浦市からマツカイ市へ派遣交流事業は2種類ありますが聞いたことがありますか？毎年夏休みに派遣する中学・高校生を対象とした「松浦市青少年親善使節団」と、隔年で派遣する一般市民を対象とした「松浦市民親善訪問団」

で、これまで参加した松浦市民はのべ700人を超えています！

5月には今年度の派遣団の募集が始まります！観光とは違った、姉妹都市だからこそできる心あたたまる「シスターシティ体験」をしてみませんか？「シスターシティ・マツカイ」の皆さんが待っていますよ。

ちなみに「シスターシティ体験」は英語でいうと“Sister City Experience”(シスター・シティ・エキスピリエンス)と発音します。意味は姉妹都市交流の体験ですが、初めて会う人なのに親しみを感じるという別の意味もあります。初めて海外に行く人にもおすすめです！

写真は、「シスターシティ・マツカイ」のマーガレット・ブラウンさん、マイク・ブラウンさん、ジェーン・カレロさん、カレン・ドゥルリーさんの松浦訪問時の様子



図書館へ行こう！ ～本を読みたくなる気持ち にスイッチ・オン！～

市立図書館
☎ 0956-72-4677



松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索

土日、祝日開館(年末年始、臨時休館を除く)
休館日は行事カレンダーをご覧ください。

本でつながる BOOKリレー 1



紹介する本のタイトル

「置かれた場所で咲きなさい」
渡辺和子著／幻冬舎

紹介する人

氏名：友田 吉泰さん
職業：松浦市長

このコーナーでは、皆さんの本や読書にまつわる思い出、エピソードなどをご紹介します。

新年度が始まって1か月、慣れない環境に身を置いて悩んでいる方もいらっしゃるかもしれません。そんな方にぜひ読んで欲しいのがこの本です。

修道者である著者がその経験をもとに書かれた優しさあふれるエッセイ集。「自分自身に語りかける」「明日に向かって生きる」「美しく老いる」「愛すること」という4章で構成された内容は、中高生から大人まですべての世代に受け入れられると思います。

私自身もこの本から勇気をもらい、敬老の皆さまへお贈りしたお祝いのメッセージにその一部を引用させていただくなど、とても大切にしている一冊です。読むことで心が和らぎ、きっと元気になれると思います。

最後にこの本の中で私の一番好きな言葉を紹介して皆さんの気持ちが「オン」になれば幸いです。「どんなところに置かれても 花を咲かせる心を持ち続けよう」～境遇を選ぶことはできないが、生き方を選ぶことはできる。「現在」というかけがえのない時間を精一杯生きよう～。

イベント情報

○おはなし会(おはなしのへや)
5月6日、27日 午前11時～
13日、20日 午後2時～

○体験！きらきら号
(生涯学習センター駐車場)
5月3日 午前10時～午後6時(雨天中止)
学校や公民館などを巡回しているきらきら号を利用してみませんか？

○春の本活！(図書館)
5月6日まで(休館日を除く)
図書館で使わなくなった本などを必要な人にお譲りします。

お知らせ

住民や利用者の方に投稿いただいた思い出の本、愛読書などを特設コーナーで紹介しています。また、学校図書室の特設コーナーを新たに作りました。市内小中学校の児童・生徒の皆さんのおすすめの本の紹介などを行なっています。